



PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER

PMC-05Pro IV

取扱説明書 P. 2

OWNER'S MANUAL P. 18

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
Web: www.vestax.jp E-Mail: cs@vestax.jp

Head Office
1-18-6 Wakabayashi, Setagaya-ku, Tokyo 154-0023 Japan
Web: <http://www.vestax.com/>

Vestax Global Support (US)
csg@vestax.jp

Vestax Europe Support (Europe)
cse@vestax.jp

目次

目次	2
ご使用上の注意	2
安全上の注意	3
本機の特長	4
同梱品一覧	4
推奨動作環境	4
各部の名称と機能	5
MIDI・DVSシステムの接続	9
フェーダー・スイッチの交換	13
セットアップ例	15
サポート	16
主な仕様	16
保証とアフターサービス	17

ご使用上の注意

電源について

- 雑音が発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製スプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上の注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- USB機器はUSBケーブルを端子から抜いてから行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- カッタゲ調整機能付き、新開発デジタルフェーダー(非接触マルチリニアセンサーシステム)をクロスフェーダーに採用。ベスタクス至上最高の切れの良さを実現
- USB MIDIコントローラー機能搭載
キーボードの操作なしでデジタルDJソフトのオペレーションが可能
- 伝統の高品位3バンドアイソレーター搭載
- 優れたタッチの新開発ロータリーノブを採用
05ミキサーシリーズの操作性をさらに高めたレイアウトを実現
- 多様な入出力接続
XLRアウト、PGM BOXイン、PHONO/LINEセレクトスイッチ、1/4インチブースアウト他
- LEDミュート表示付き、新開発高剛性トランスフォーマースイッチ搭載
- マイク、ラインその他の様々な入力に対応するSUBインプットチャンネル

同梱品一覧

- ・取扱説明書
- ・USBケーブル
- ・電源アダプター (Vestax AC-14)

推奨動作環境

< Macintosh >

OS : Mac OSX 10.4以上
CPU : G4/1GHz以上
RAM : 1GB以上
ディスプレイ解像度: 1024X768以上
空きUSBポート
音楽データを保存可能なハードディスク領域

< Windows >

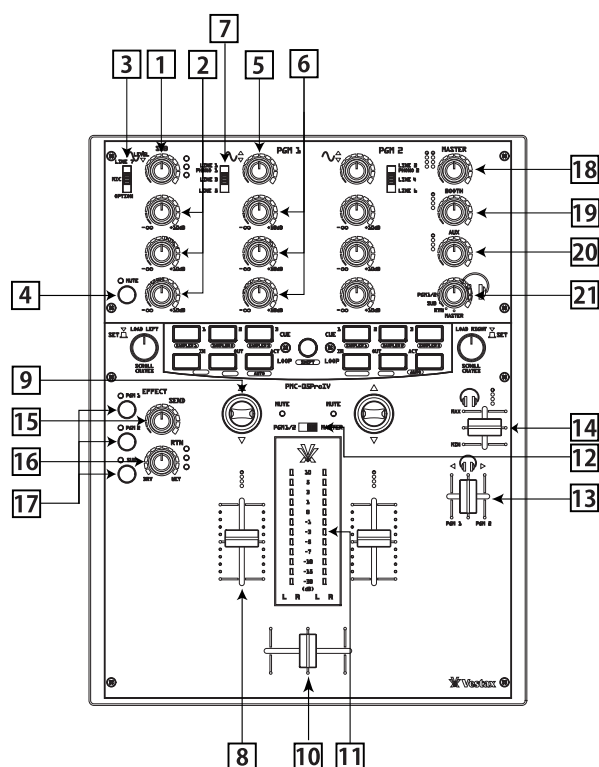
OS: Windows XP Service Pack2以上、またはWindows Vista Service Pack1以上
CPU: 1.5GHz以上
RAM: 1GB以上
ディスプレイ解像度: 1024X768以上
空きUSBポート
音楽データを保存可能なハードディスク領域

※こちらはDJソフトウェアと併用される場合のコンピュータ動作環境となります。
コンピュータをご利用されない場合は必要ございません。

※その他、ソフトウェアの使用環境に準ずる。

各部の名称と機能

トップパネル



<MIDIコントロールセクション>

DJソフトウェアのコントロールを行います。詳細は11ページを参照。

<SUBセクション>

1 SUB LEVEL

3番のセレクターで選択したソースの入力レベルを調整します。

2 SUB ISOLATOR

3番のセレクターで選択したソースの音質を高域、中域、低域の3つの周波数帯で調整します。左に回すとそれぞれの帯域の音量がカットされ、右に回すとブーストされます。12時の位置でフラットの状態です。

3 SUB SOURCE SELECT

LINE7/MIC/OPTIONに接続したソースを選択します。

4 SUB MUTE

SUBチャンネル全体の音量を消音します。
MUTEスイッチONで上のLEDが赤く点灯します。

<チャンネルセクション>

5 TRIM

各PGMに接続された機器の入力レベルを調整します。
LED METER SELECTが"PGM"の時に、インプットレベルメーターが「0dB」の位置まで点灯するように設定してください。

6 ISOLATOR

各PGMに接続された機器の音質を高域、中域、低域の3つの周波数帯で調整します。左に回すとそれぞれの帯域の音量がカットされ、右に回すとブーストされます。12時の位置でフラットの状態です。

7 INPUT SELECT

各PGMに入力されたソースを選択します。スイッチを切り替えることで、どの入力機器を使用するかを選択することができます。

8 INPUT FADER

各PGMの音量を調整します。各FADERはカーブの特性を切り替えたり、音量調整を上下逆にすることもできます。
(23 24 番参照)

9 TRANSFORMER

各PGMの音量を消音することができます。レバーをリズムに合わせて切り替えることで、トリックプレイにも利用できます。

10 CROSS FADER

左側に移動するとPGM1の音が、右側に移動するとPGM2の音がそれぞれ出力されます。
中央部にあるときは、両方のPGMの音が出力されます。
カーブの特性を切り替えたり、左右を逆にもできます。
(25 26 番参照)

11 LED METER

各PGMに入力されている音量レベル、または実際に出力されている音量レベルを表示します。

12 LED METER SELECT

LED METERに表示するソースを"PGM"、"MASTER"から選択します。"PGM"を選択した場合は、LED METERに各PGMに入力されている音量レベルが表示されます。
"MASTER"を選択した場合は、LED METERにMASTER出力の音量レベルが表示されます。

13 CF MONITOR

ヘッドフォンでモニターするPGMを選択します。CROSS FADER (10 番)と同様にツマミの位置で信号が切り替わります。

14 MONITOR LEVEL

PHONESに接続したヘッドフォンの音量レベルを調整します。

15 SEND LEVEL

リアパネルのEFFECT SEND に接続された機器に送る音声信号レベルを調整します。

16 RTN BALANCE

リアパネルのEFFECT部 RTN に接続された機器の入力レベルのバランスを調整します。

17 EFFECT SEND SELECT

どのPGM(またはSUB)の信号をEFFECT SENDに接続された機器に送るかを選択します。

<マスターセレクション>

18 MASTER LEVEL

リアパネルの「OUTPUT」から出力される DJミキサーの最終的な音の出力レベルを調整します。

19 BOOTH LEVEL

リアパネルの「BOOTH OUT」から出力される 音の出力レベルを調整します。

20 AUX LEVEL

リアパネルの「AUX」から出力される音の出力レベルを調整します。
(使用例) 録音機器などに接続します。

21 HEADPHONE MONITOR SELECT

ヘッドフォンでそれぞれの入出力を確認できます。

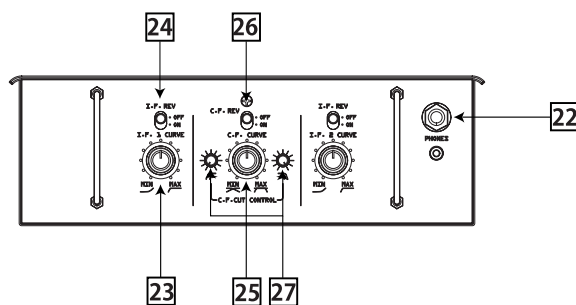
PGM : CF MONITOR(13番)で選択した音をモニタリングします。

SUB : SUBに入力された音をモニタリングします。

RTN : EFFECT の "RTN"の音をモニタリングします。

MASTER : MASTERで出力されている音をモニタリングします。

フロントパネル



22 PHONES JACK

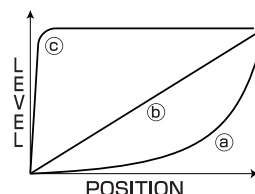
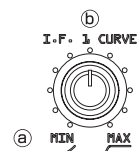
ヘッドフォン専用の出力端子です。お使いのステレオヘッドフォンの形状に合わせて、上下いずれかの端子に接続してください。

23 I.F.CURVE

INPUT FADERのボリュームカーブを調節します。右に回すとカーブが急になり、左に回すとカーブがなだらかになります。

24 I.F.REVERSE

INPUT FADERボリュームの機能を逆転します。
このスイッチを"ON"にすると、フェーダーを上にしたときに音量が下がり、フェーダーを下に下げると音量が上がります。



ボリュームを時計方向にまわすと(a)→(b)→(c)と変化します。

インプットフェーダーカーブ特性

25 C.F.CURVE

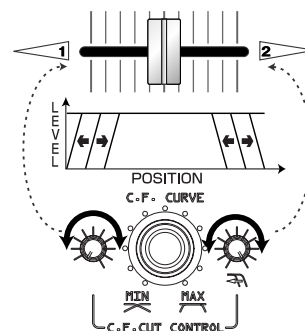
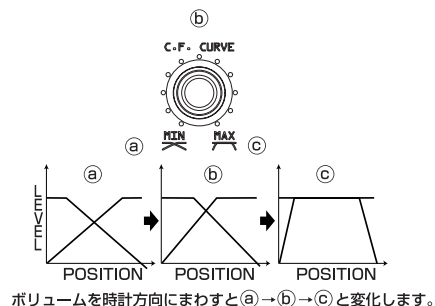
CROSS FADERのボリュームカーブを調節します。右に回すとカーブが急になり、左に回すとカーブがなだらかになります。

26 C.F.REVERSE

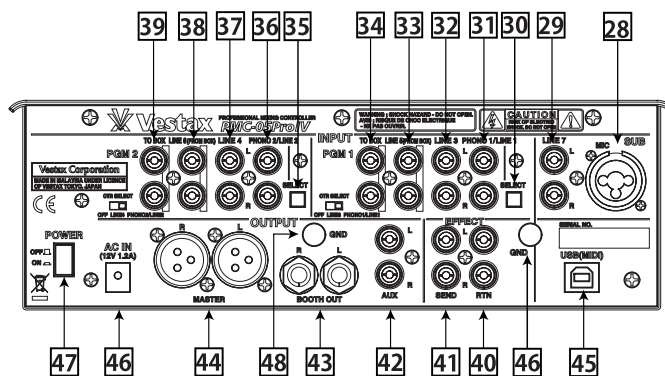
CROSS FADERボリュームの機能を逆転します。このスイッチを"ON"にすると、フェーダーを左側に動かすとPGM2、右側に動かすとPGM1の音声が出されます。

27 C.F.CUT CONTROL

CROSS FADERのカットラグ(遊び)を調節します。
 ・左側のツマミでフェーダーの左側の遊び(操作しても音が出ない範囲)を調節します。
 ・右側のツマミでフェーダーの右側の遊び(操作しても音が出ない範囲)を調節します。



リアパネル



<SUB INPUT>

28 MIC

MICを接続する入力端子です。XLR端子、フォン端子の2種類の形状を接続することができます。

29 LINE7

ラインレベル出力の機器を接続するための入力端子です。

<PGM1 INPUT>

30 SELECT

31 PHONO1/LINE1の入力切替スイッチです。

PHONO - スイッチOFF ■ : PHONO入力

LINE - スイッチON ■ : LINE入力

31 PHONO1/LINE1

レコードプレーヤーやCDプレーヤーなどの出力機器を接続するための入力端子です。

30 の"SELECT"スイッチで、接続する機器を選択します。

32 LINE3

CDプレーヤーなどのラインレベル出力機器を接続するための入力端子です。

33 LINE5(FROM BOX)

DVSシステムを使ったオーディオインターフェイス出力を接続するための入力端子です。(使用方法は9ページ参照)

34 TO BOX

PHONO1/LINE1に入力した信号をライン出力します。

使用法としては、DVSシステムを使ったオーディオインターフェイスの入力へ接続します。

Control VinylかControl CDによって左下のセクターで下記のように、選択する必要があります。

- LINE : Control CDを使う場合

- PHONO : Control Vinylを使う場合

35 SELECT

31 PHONO2/LINE2の入力切替スイッチです。

PHONO - スイッチOFF ■ : PHONO入力

LINE - スイッチON ■ : LINE入力

<PGM2 INPUT>

36 PHONO2/LINE2

レコードプレーヤーやCDプレーヤーなどの出力機器を接続するための入力端子です。

右横の"SELECT"スイッチで、接続する機器を選択します。

37 LINE4

CDプレーヤーなどのラインレベル出力機器を接続するための入力端子です。

38 LINE6(FROM BOX)

DVSシステムを使ったオーディオインターフェイス出力を接続するための入力端子です。(使用方法は9ページ参照)

39 TO BOX

PHONO2/LINE2に入力した信号をライン出力します。

使用法としては、DVSシステムを使ったオーディオインターフェイスの入力へ接続します。

<EFFECT>

40 EFFECT RTN

外部エフェクターの出力を接続するための入力端子です。

41 EFFECT SEND

外部エフェクターの入力端子と接続するための出力端子です。

<OUTPUT>

42 AUX OUT

AUX LEVEL(**20**番)で設定した音声信号が出力されます。

RCAピンケーブルを接続して下さい。

43 BOOTH OUT

BOOTH LEVEL(**19**番)で設定した音声信号が出力されます。

標準フォンプラグのケーブルを接続してください。

44 MASTER OUT

(**18**番)で設定した音声信号が、出力されます。

XLR端子(メス;2PIN HOT)のケーブルを接続し、出力機器(アンプ、パワードミキサー、PAミキサー等)に接続します。

<その他>

45 USB(MIDI)

USBケーブルを接続します。本機でDJソフトウェアをコントロールする際に利用します。(11ページ参照)

46 GND TERMINAL

レコードプレーヤーのアース線を接続する端子です。ノイズやハムを減少させるので、必ず接続してください。


46 AC INPUT

電源アダプターを接続する端子です。専用のアダプター(Vestax AC-14)を接続してください。

注意

Vestax AC-14以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合、保証しかねますのでご了承ください。

47 POWERスイッチ

電源のON/OFFスイッチです。ONの状態にするとトップパネル上の  (Vestaxロゴ) が赤く点灯します。

注意

このスイッチをON/OFFする場合は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行ってください。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意ください。

48 GND TERMINAL

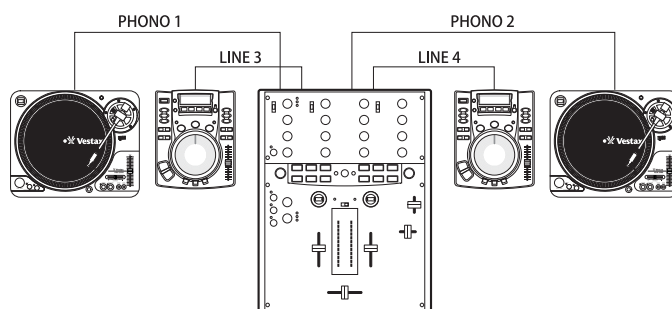
レコードプレーヤーのアース線を接続する端子です。ノイズやハムを減少させるので、必ず接続してください。

MIDI・DVSシステムの接続

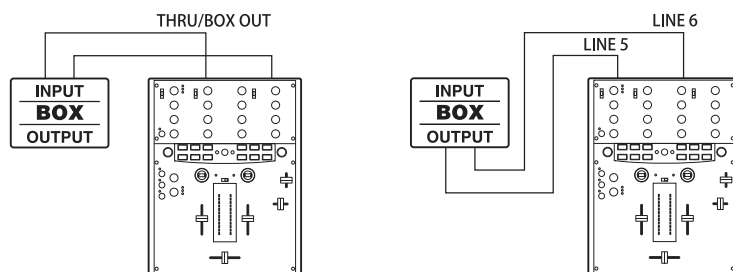
Scratch Live、Traktor ScratchなどのDVSシステム使用方法

<接続方法>

①ターンテーブルは本機のPHONO1、PHONO2に、CDプレーヤーは本機のLINE3、LINE4にそれぞれケーブルを接続します。また、ターンテーブルの際は本機のGND端子とプレイヤー側のGND端子を接続します。



②ミキサーのPGM1 TO BOXからボックスのCH1 INPUTに、ボックスのCH1 OUTPUTからミキサー側のPGM1 LINE5(FROM BOX)にケーブルを接続します。同じようにミキサーのPGM2 TO BOXからボックスのCH2 INPUTに、ボックスのCH2 OUTPUTからミキサー側のPGM2 LINE6(FROM BOX)にケーブルを接続します。



③コンピュータとボックス、コンピュータと本機をそれぞれUSBケーブルで接続します。

★ポイント

通常のDVSシステムでボックスの交換が必要となる場合、CDやターンテーブルの配線をミキサーから外して、それぞれのボックスにその都度接続していました。

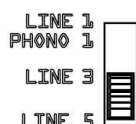
しかしながら、従来の方法では、実際の現場でDJが入れ替わる際にその作業が面倒だけでなく、実際に音が出なくなったりすることもありました。

本機はその煩わしさとトラブルを回避するべく開発された新しいDJミキサーです。

PMC-05ProIVはスイッチの切り替えで<DJソフトウェア>と<アナログレコードやCD>を使い分けることができるとも便利なミキサーです。

DVSシステムのボックスに接続する配線ケーブルをミキサー接続したままにして、常に手元に出して置くことで、入れ替わりも容易に行えます。

④使用するときのインプットスイッチ切り替え位置は、PGM1はLINE5に、PGM2はLINE6に切り替えます。



★注意

DJソフトウェア及びBOX側のDVS入力は「LINE」に設定してください。方法についてはそれぞれのマニュアルをお読みください。

⑤背面のパネル部にあるCTR SELECTスイッチを切り替えます。

アナログレコードでコントロールする場合はPHONO1/LINE1とPHONO2/LINE2、CDでコントロールする場合はLINE3とLINE4に切り替えます。



これですべてセッティングは完了です。

<DVSシステムからアナログレコード/CDプレイヤーへの簡単切替え方法>

Scratch LiveやTraktor Scratchをプレイしている状態から、通常のアナログレコードやCDをかけたい場合はPGM1 PGM2それぞれのインプットスイッチをLINE5/LINE6からそれぞれPHONO1/PHONO2やLINE3/LINE4に切り替えます。

<MIDI Control SectionのMIDIマッピング方法>

本機は、DJソフトウェアのコントロールを行うために、自由にMIDIアサインできるようになっています。

具体的なMIDIアサイン方法は以下をご参考ください。

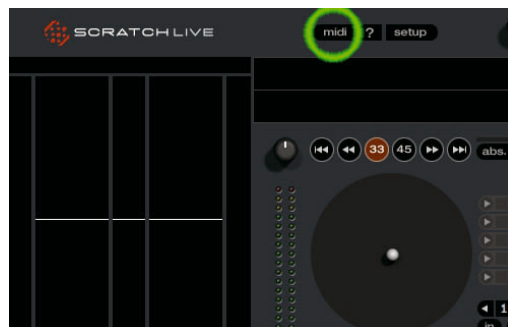
※詳細をより知りたい場合は、各ソフトウェアのマニュアルをお読みになるか、開発元または代理店までお問い合わせください。

※設定を行う前にDJソフトウェアを終了し、本機とコンピュータをUSBケーブルにて接続します。

<Serato社 Scratch Liveの場合>

(具体例として、デッキ1のCUEをアサインします)

1. Scratch Liveの画面で、[MIDI]のボタンをクリックします。



2. デッキ1の[CUE]をマウスでクリックします。



3. 画面上にMIDIコントロールをアサインさせたい箇所のウィンドウが表示されるので、本機のアサインさせたいボタンを押します。



これでひとつのアサインが完了します。

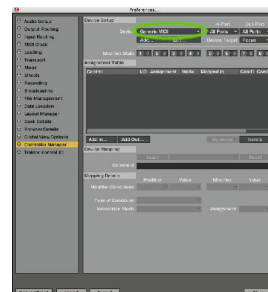
この要領でMIDIマッピングのアサインを自由に組んでいくことができます。尚、弊社サポートサイトでも予め設定されたMIDIマッピングファイルを用意しておりますので、下記のサポートサイトよりダウンロード/ご利用くださいませ。

<http://help.vestax.co.jp/ja/>

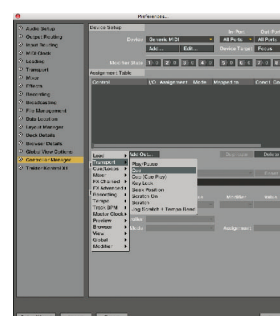
<Native Instruments社 Traktor Scratchの場合>
 (具体例として、デッキ1のCUEをアサインします)

1.Traktor Scratchの画面で、PreferencesからControl Managerを開きます。

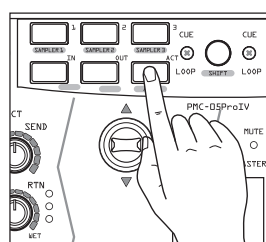
2.Device を Genelic MIDIに設定します。



3.Add In... をクリックし、TransportからCueを選択します。



4.Learnボタンをクリックし、本機にアサインさせたいボタンを押します。



これでひとつのアサインが完了します。

この要領でMIDIマッピングのアサインを自由に組んでいくことができます。尚、弊社サポートサイトでも予め設定されたMIDIマッピングファイルを用意しておりますので、下記のサポートサイトよりダウンロード/ご利用くださいませ。

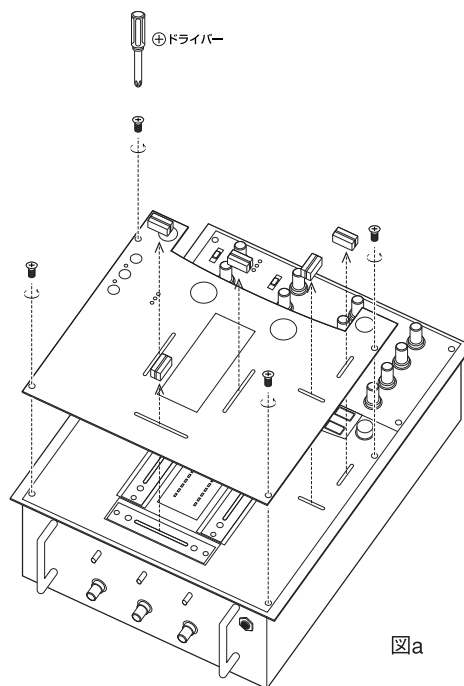
<http://help.vestax.co.jp/ja/>

フェーダーユニット及びスイッチユニットの交換

フェーダーユニットの交換

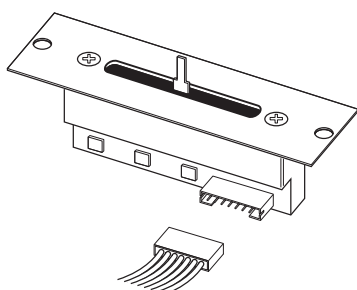
■トップパネルの外し方

- ①図aのようにINPUT FADERボリューム ⑧ 、CROSS FADERボリューム ⑩ 、MONITOR LEVELボリューム ⑭ 、MONITOR C.F.ボリューム ⑬ のつまみを取り外して下さい。(計5個)
- ②トップパネルを固定している4点のネジを、図aの用にプラスドライバーを使用し、外して下さい。

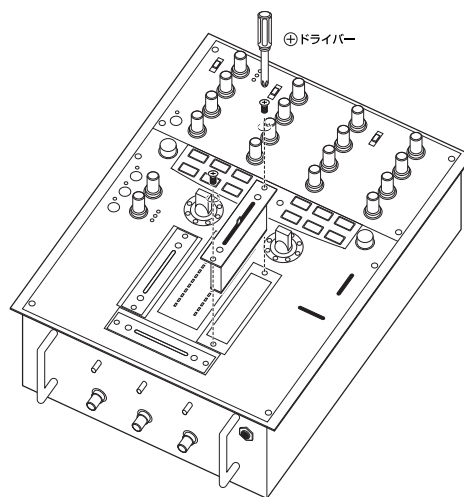


■クロスフェーダー及びインプットフェーダーの交換

- ①トップパネルを外した後、図bのようにフェーダーパネルを固定している2点のネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ②図cのようにフェーダーユニットと本体側を接続しているコネクタを引っ張って取り外して下さい。(この際、コネクタのピンを曲げないように注意して下さい。)
- ③新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。



図c



図b

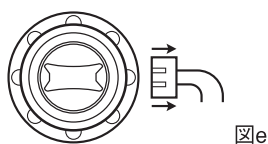
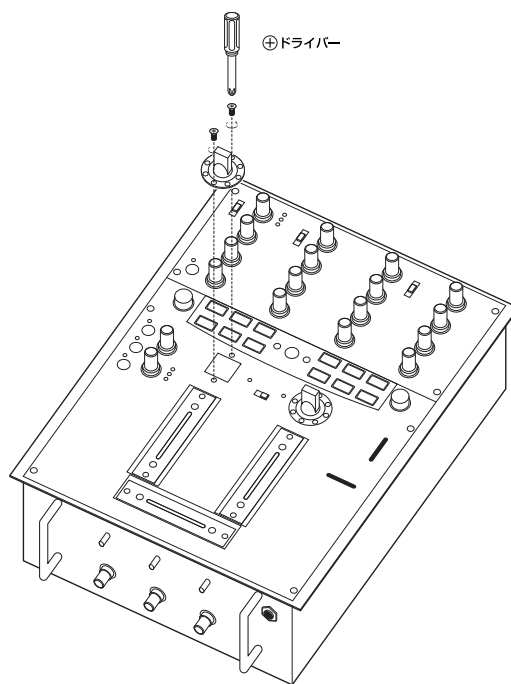
スイッチユニットの交換

■スイッチの交換

- ①“フェーダーユニットの交換”の①、②と同じ要領でトップパネルを外します。
- ②図dのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ③図eのように本体側と接続しているコネクタを外します。
- ④新しいユニットと交換し、③→①の手順で元に戻します。

■スイッチ方向の変更

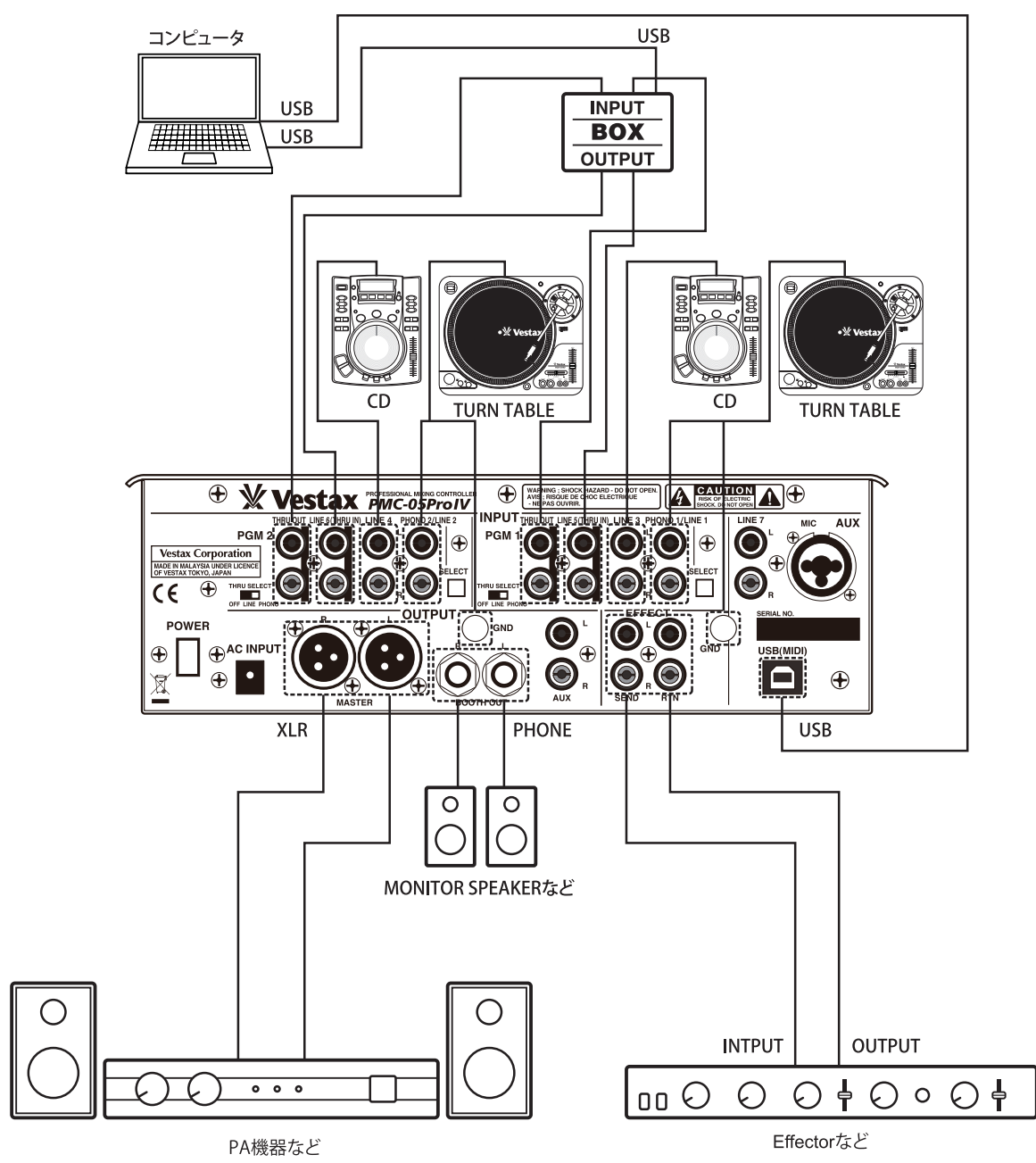
- ①図eの用にスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチごと上に持ち上げて下さい。
- ②スイッチの向きを好みの向きに設定し、ネジで固定して下さい。
- ③トップパネルを元の状態に戻して下さい。



注意

- ・フェーダーを交換する際は、フェーダーの取付け向きにご注意下さい。
インプットフェーダー：コネクタ部分を下側にして取り付けて下さい。
クロスフェーダー：コネクタ部分を上側にして取り付けて下さい。
- ・フェーダー及びスイッチを交換する際には安全のため電源をお切り下さい。ノイズが出たり、ショートする場合があります。
- ・ドライバーをご使用になる際は、サイズの合ったものをご使用下さい。ドライバーのサイズが合わないと、ネジを破損させてしまう恐れがあります。

接続例



サポート

本機の調子が悪いとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグが外れている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーのSUB INまたはLINE INに接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECT スイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルをPMC-05PROIV 本体の LINE INPUT に接続していませんか？	PMC-05PROIV 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプに交換する。
	レコードプレイヤーの出力ケーブルをPMC-05ProIV 本体の PHONO/LINE 入力に接続時 SELECT スイッチが ON になっていませんか。	TRANSFORMER スイッチを OFF (赤 LED 消灯) にする
音が歪む。	PMC-05PROIV の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続していませんか。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベルの高い CD、MD プレイヤー等を接続していませんか。	PMC-05PROIV の TRIM ヴォリュームを下げる。
	PMC-05ProIV の PHONO/LINE 入力に CD などを接続時、SELECT スイッチがオフになっていませんか。	SELECT スイッチを ON にする
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音 (ハム音またはバス音) がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を PMC-05PROIV 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。

主な仕様

		定格入力レベル	インピーダンス
入力	MIC	-50dBv	3.3kΩ
	LINE 1~7	-10dBv	10kΩ
	PHONO 1~2	-42dBv	40kΩ
	RTN	-10dBv	10kΩ
	SUB	-10dBv	10kΩ
		定格出力レベル	インピーダンス
出力	AUX	0dBv	220Ω
	BOOTH OUT	0dBv	220Ω
	MASTER	0dBv	440Ω
	PHONES	100mW (47kΩ)	>8Ω
周波数特性		25Hz~25kHz	
クロストーク		≧80dB	
S/N比		≧68dB	
外形寸法		263(W)X83(105=ツマミ含む) (H)X330(D)mm	
重量		4.5kg	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

●製品の使用の問い合わせ及びサポート

お問い合わせ：cs@vestax.jp

web：http://www.vestax.co.jp/ja/

●修理に関するご相談並びにご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。

（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示下さい。
保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

ご相談の上修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積が必要な場合はあらかじめお伝え下さい。

お買い上げの日

お買い上げ店名

電話（ ） -

オフィシャル・サポート・チャンネル

PMC-05ProIV 本体のサポートとカスタマーサービスについては

ベスタクス・サポート・サイト

http://www.vestax.co.jp/ja/